

広報

やすらぎ

No.128 令和7年5月15日発行

ミャンマーからやってきました!



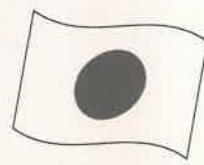
イ サンダー アウンさん
通称：イサンダー
2003年8月3日生(22)



ニョ ミイミゾーさん
通称：ミイミイ
2002年6月3日生(23)



ティン ザーピョーさん
通称：ピョー
1998年3月12日生(26)



4月1日より、ぶなの園では、ミャンマーからの特定技能外国人を3名受け入れていきます。ミャンマーでは3月に大きな地震があり心配されましたが無事に入国し、家族も皆無事で3名とも笑顔でぶなの園へ到着しました。現在介護技能や技術の習得に励んでいます。そんな3人にインタビューをしました。

Q1、日本に来ようと思った理由は?

「ピョー」介護の仕事に興味がありました。日本の介護技術と仕方を学びたく、将来はミャンマーに帰って施設を開きたいです。

「ミイミイ」家族を支えたいと思って勉強しました。日本人は真面目なので、日本で一緒に仕事をしたいと思いました。

「イサンダー」介護の仕事に興味がありました。ミャンマーでは戦争があり大学を辞めて日本に来ました。

Q2、実際に日本に来てみてどうですか?

「ピョー」寒いと思いました。日本の食べ物はいり口に合いませんが、お菓子は美味しいです。

「ミイミイ」寒いですが、でも慣れました。ご飯も大丈夫です。

「イサンダー」楽しいです。先輩方も優しいです。

ミャンマーはきれいな所が沢山あり日本と同じように春には桜が咲くそうです。言葉や文化の違いなど戸惑うことも多くあると思いますが、3人とも積極的に笑顔で日々仕事に励んでいます。今後ともよろしくお願いたします。

介護について知ろう

ぶなの園の交流スペースで包括支援センター主催の生活・介護支援サポーター養成講座が開かれました。地域の方を対象に介護についての基本的なこと、または福祉用具の実演などを西和賀介護福祉士会の方に教えてもらうことが出来る講座です。この日は12名ほど参加してくださいました。先に座学での説明、その後福祉用具の体験を実際にした後、この日は西和賀介護相談室で介護支援専門員をしている社会福祉士の高橋宏明在宅福祉課長にケアマネジャーの仕事と介護サービスについての講演をしていただきました。介護支援専門員の仕事について知る良い機会だったと思います。今回の講座に参加された方からは、実際に体験できていい機会だった。介護する方の変さがわかった。また学びにきたい。と声をいただきました。



施設と

医療連携

「安心した生活を 守るために」

ぶなの園では、入所者さんの安心・安全な生活を協力医療機関と連携する事によって維持しています。その協力をいただいているのが町立西和賀さわうち病院（以下「病院」と表記）です。今回は、その病院との連携で行っていたいてる支援の回診と訪問歯科診療についてご紹介していきたいと思います。

【回診】

毎週一回、月曜日にぶなの園に来園していただき診察をしていただきます。医師1名、看護師、ぶなの園の看護師で各部屋を回ります。先生が入所者さんに声をかけると「〇〇先生だ」と、顔を思い出し「久しぶりだね」など会話をしながら診察が始まります。病院のパソコンと連動したパソコンを使用することによって前回の情報（カルテ）などを見ることが

出来ます。また、直ぐに処置や通院が必要な時も指示をいただきその場で対応できます。スピーディーな判断が必要とされる中、入所者さん一人ひとりの顔をみてコミュニケーションをとりながらの診察に、入所者さんも安心したお顔になります。メンタルの面でも心強い支えになっていただいているのがわかります。



直接診察を受けれます

【訪問歯科診療】

月に2回、歯科医と歯科衛生士に来園していただき診療を行っています。口・歯は生きることに必要な「食べる」ことに使う大事な身体の一部です。毎日のように使うためその分、ケアもしっかりしなければいけません。普段は施設の介護職員の管理のもと口腔ケアを行っています。しかし、先生に診察していただくと食べ



細部まで見てもらえます

残しや汚れがあったりと、職員が目で見つけられなかった・手の行き届かなかった部分が分かります。また、歯の調整も簡易な物はその場でやっていただく事ができ、入所者さん達も安心して義歯を使って食べることが出来ます。

このように、入所者さんの日々の生活を病院と連携する事によって守ることが出来ます。この他にも、ワクチン接種や看取りケア、内服薬についての検討会など、多岐にわたるご協力をいただいております。入所者さんの生活を支えていただいているのはもちろんのことですが、職員である我々も安心して業務を行うことが出来ます。これから入所者さんのより良い生活を維持できるよう、我々職員も気を引き締めて努めていきたいと思えます。

春をさがしに



ぶなの園デイサービスでは、焼け地台公園へ春を探しに出かけたり、ぶなの敷地内の桜を見に散歩に出かけました。焼け地台公園はまだ肌寒かったですが、フキノトウや水芭蕉を見たり春の到来を感じることが出来ました。敷地内の桜は満開を迎え、天気も良く「良いやんべに咲いでらな」「今日が最高だな」と話しながら、外気浴も兼ねたお花見になりました。

デイサービスがたくりの園



今年は巳年じゃ～



デイサービスがたくりの園

かたくりの園では、毎年その年の干支にちなんだ紙アートを利用者と職員が協力して作成しています。今年の干支は「巳」ということでへびを作成しました。色々な色の紙を丁寧にたくさん丸めて貼り付けるという作業を少しずつ進めていき遂に完成しました。完成品を目にした利用者の皆さんの笑顔が光っていました。



■昨年、昭和の日には咲いていた我が家の八重桜。5月に入ってもつぼみのまま。天候不順で農作業の遅れも心配なところ ■昨年秋季から令和の米騒動が治まらない国の備蓄米21万トの放出もいまだ小売りへの流通は2%と価格は下がらずの報道。国の売渡は60kg21,402円で放出したらしいが、緊急時なのに国の利益はいかほどか。しかも、中身は「買い戻し条件付き売渡し」とか、訳が分からない。「卸が買い受けた数量と同数を国に返すことの契約」らしいが新米を確保できるか不安な中で札を入れる卸側も躊躇するだろう ■昨年、我が家の米は60kg15,700円程で出荷したけど精米後の小売りは5kg4,000円前後。運賃や精米、袋詰めを経費を含めても売渡の2倍超えは異常である。外国産米は安価で輸入されるみたいで日本の米は買い手があるのか不安は大きい ■生産者が望む小売り価格となるよう時代に即した制度の見直しが急務と思うが。

和賀川

85

施設長
佐々木

あたたかい
善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和7年3月1日～4月30日

【ご寄贈】

- ・ 深澤テル子 様
- ・ 匿名 様
- ・ 西和賀町商工会女性部 様



4月1日に令和7年度やすらぎ会
辞令交付式が執り行われました。職
員への登用、昇格、異動など理事長
より辞令が発令されました。また、
ミャンマーからきた3人の特定技能
外国人には採用の辞令が渡されまし
た。3人には、やすらぎ会の新たな
戦力として頑張ってもらいたいです。
新年度、職員一同新しい気持ちで努
めていきたいと思ひます。



あしあと

【3月】

3日 ひなまつりホーム喫茶
海鮮ちらし
4日 出張理容
出張理容
12日 出張理容
家族会役員会議
14日 家族会役員会議
15日 広報やすらぎ発行
18日 春の彼岸法要
27日 理事会
28日 ばっけの会総会

法人の主な動き

【4月】

1日 開園記念日
出張理容
9日 辞令交付式
全職員会議
16日 出張理容
入所検討委員会
26日 家族懇談会
家族会総会

**やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!**

右のQRコードを読み
取れば、スマートフォ
ンでも簡単に閲覧で
きます。ぜひのぞいて
みてくださいね♪



<https://yasuragikai.com/>

編集後記

新年度になり、やすらぎ会の広
報委員も新しく変わりました。入
所者さんや利用者さんに寄り添っ
た内容・情報を紹介できるように
取り組んでいきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。

やすらぎ会広報委員会

佐々木典子 藤原江利子
山鼻 恵 高橋恵梨子
柴田 望

- ☐ 特別養護老人ホーム ぶなの園
- ☐ デイサービスセンター ぶなの園
- ☐ 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- ☐ 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】 社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会